

Bouquet

Vol. 13
ブーケ

教育支援課
保護者会運営事務担当

〒350-0288
埼玉県坂戸市千代田3-9-21
TEL : 049-284-3291

本学における 新型コロナウイルス対応 について



女子栄養大学・
女子栄養大学短期大学部
理事長・学長 香川 明夫

いつも本学の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

コロナウイルス感染予防、治療に関わる皆様、戦われている方々、生活を支えてくださっている皆様に心からのお礼とお見舞いを申し上げます。

今年度のスタートは保護者の皆様、学生みなさんに大変ご心配をおかけするスタートとなってしまいました。新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度の卒業式、今年度の入学式、関連行事、授業等が中止や延期を決定し今日を迎えています。

そのような中、保護者会の皆様からご厚志をいただきました。御礼申し上げます。ありがとうございます。学生の皆さんに還元できるよう使わせていただきます。また、綾栄会（香川栄養学園の寄付団体）より学生支援のための寄付を学園HPより呼びかけさせていただきます。こちらもぜひよろしく願いいたします。

現在学園ではキャンパス内の活動に制限を設けています。教職員は緊急事態宣言が解除されたのち、学生の皆さんには感染予防対策をして登校して学んでもらいたいと準備を進めています。現在の授業日程を再検討し、適切な時数を確保すること、実験実習など学内で取り組むことについては環境を工夫して適切に行うこと、学外の実習については実習先と丁寧な連絡を取り合い、お互いに安全安心が確保されたうえで行うことなどを検討しています。

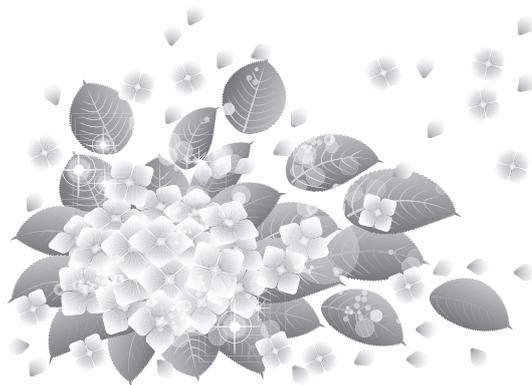
新入生の皆さん、在学生の皆さんも、キャンパスに全く登校できない日々が続いています。今までの普通がそうでないことに気づいたり、学ぶことの質をより真剣にとらえ

たりする機会となっていることが伝わってきます。学生の皆さんが学校からの連絡に適切に応え、インターネットを通じた学修も取り組んでいる姿が見られています。このことは必ず学生さんの学力とともに力になっていると思います。まだまだ以前のような安全な社会、元通りの生活というレベルには世界的にみても戻っていないのですが、本学園の総合力で学生の皆さんへの教育を進めてまいります。

本学園は予防医学を礎にした学園です。新型コロナウイルス感染も積極的に予防できるよう学び、その行動で表すことができればまさに、実践栄養学ということだと思います。四群点数法で食事をバランスよくとり、適度な運動と休息により免疫力を高めることや実習等で身につく「手を洗う」などの生活習慣の行動が予防の力となってくれると思います。

まだまだ先行き不透明な日々が続くと思いますが、皆様におかれましても健康第一でお過ごしください。

引き続きよろしく願いいたします。



保護者の皆さまへ

女子栄養大学
副学長 磯田 厚子



日頃より本学の教育研究を支えてくださり、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス禍で、日本中大変なことになっておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

学生にとっては大きな節目でもある卒業式も入学式も全面的に中止され、5月末現在でも両キャンパスとも学生の登校はなく、寂しい学園になっています。教員も学生も、課題学習やオンライン授業で励ましあいつつ学習を進めているところです。

そんなさなかに私事ではありますが、去る3月末に定年を迎えました。昨年末に栄養学部長を退き、本年（令和2年）1月に学部の副学長を拝命し、現在も引き続きその任に当たっております。対面授業が遅れているなか、夏休みにも食い込む形で授業日程の再編などに大わらわです。

香川明夫理事長の指揮のもと2月に新型コロナウイルス感染対策本部が立ち上がり、学園保健センターが教職員並びに学生生徒の体調不良者の情報を毎日集約してフォローしています。幸いなことに、今のところ一人も陽性者は出ておりません。日頃の栄養管理、健康管理の賜物かも知れませんね。

また、5月上旬には学園として、学生生徒の学習支援として通信環境整備を主目的とした緊急奨学金を決め、同窓会である香友会からの支援もあり、併せて全学生生徒ひとり7万円の給付を行います。困難な生活環境の中で少しでも学生を支援できたらと考えております。

首都圏は4月初めに発令された非常事態宣言が5月半ばでも解除となっておりません。仮に5月下旬に解除されたとしても、直ちに全ての授業を以前同様に開講することは適切ではないと考えております。クラス分けを細かくする、学年や学科を指定して登校許可するなど分散型の開講を検討しています。本学は学外実習も多く、受入機関との調整も進めております。

学生も保護者の皆さまにも不安とご不便をおかけしておりますが、私自身も卒業生として、学長を支えつつ、学生さんたちが安心して学びを進められるよう取り組んでいきます。

今年度を共に無事に乗り越えていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



保護者の皆さまへ

学校法人香川栄養学園
常務理事 染谷 忠彦



皆さまこんにちは、保護者会担当理事の染谷です。昨今の政府の緊急事態措置発令につき、保護者の皆さまに置かれましても不穏の日々をお過ごしのことと存じます。本学園におきましても、入学式の中止を始め保護者の皆さまにお目にかかれぬことが大変残念に思います。昨年4月には、卒業生役員のご慰労を兼ねた保護者会役員総会も恙無く開催され、総会終了後には、あの松柏軒の美味しいお料理を召し上がって頂きながら、多くの保護者の皆さまとのご懇談の機会もありましたが、現状はそれも叶いません。

おかげさまで本学の保護者会も本年度10年目を迎え、秋にはその記念式典を計画しておりますが、現時点では開催ができるかどうか不安です。年度初めには例年のように新

しい学年の保護者の皆さまに役員のご希望を取らせていただいておりますが、先日実施したアンケートには多くの保護者の皆さまから役員の方の立候補を頂戴頂きましてほっとしております。誠にありがとうございました。

保護者会の活動は多くの行事を計画しておりますが、この前期（8月）までの予定につきましては、延期または中止とさせていただきます。しかしながら、この状況下では後期においても実施できるか定かではございません。

昨年の活動記録につきましては次号の香窓に掲載いたしますのでご参考ください。

先に学長から報告させていただきましたが、保護者会が10周年にあたり、坂戸校舎へ「桜の苗木、ベンチテーブル

セット、防災倉庫」、駒込校舎におきましては「防災倉庫」を寄贈していただきました。現在の桜は学祖が植栽したもので（既に樹齢60年を経過している古木です）、現在の理事長・学長を兼ねた香川明夫先生の3代目就任を祝い、記念に寄贈していただきました。こちらも次号の香窓に画像を掲載いたします。

なお学生の皆さんについては、大学から付与しているeiyo アドレスを用いて、オンライン授業対応環境の確認を行っております。その結果を踏まえて、オンラインガイダンスや授業を一部開始しております。教科書につきましても専門・選択科目を一部郵送いたしております。

全面的な遠隔授業（オンライン授業等）実施にあたり、学生の学習環境整備への負担軽減のため、大学院生、大学部生、短大生、専門学校生に「2020年度女子栄養大学遠隔授業支援特別奨学金」として、一律7万円（学園5万円＋香友

会2万円）を6月中旬に郵送で給付する準備をしております。経済面におきましても一部の方になりますが、支援を検討準備しております。現在、香友会ほか各組合（教職員組合、出版組合）、職員管理職、香流会、保護者会、学園に関係する法人・団体等に支援協力をお願いいたしております。

今後も感染状況や政府の方針などを慎重に踏まえつつ、対面式授業を再開できる可能性を模索して参りますが、楽観は出来ません。夏休みや後期授業の再編も視野に入れて、学生さんの学修を確保していく予定です。

教職員も毎日体調管理に努め、一丸となって学生の皆さんへ授業環境を整える努力をして参ります。以上、保護者会についての現況をここにご報告させていただきます。保護者の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



保護者会運営委員（総務部）

中田 ちづる

（大学院研究科卒業生の保護者）

娘と共に楽しめた“栄大”生活

「大学辞めたい」

娘からは、一度もそんな言葉を聞いたことはありませんでした。大学院に進み、昨年度無事に修士課程修了となった娘とは、大学の話を沢山してきました。

令和元年度の学位記授与式は、新型コロナウイルスの影響により、中止が決定しました。卒業生にとって式の中止は寂しく悔しかったに違いありません。私も保護者の一人として同じ思いが強くありました。しかし、状況を考えれば仕方無く前向きに割り切るしかなかったのも事実でした。

私の保護者会との出会いは7年前に遡ります。入学式当日、保護者会役員選出用紙をいただきました。役員対応の可否について「やる人がいなければ受けてもよい」に印をつけ提出し、役員となりました。

何もわからずに始まった1年生役員として、若葉祭のお手伝いに参加しました。何より先輩役員の皆様と仲良くなれたことに感激したことを思い出します。その後の活動では「学科の集い」「オープンキャンパスのお手伝い」などがあり、役員としての1年目はあっという間でした。同じ役員さんとのご縁もあり、「保護者の集い in 東北」に参加させて頂き、急な依頼を受け、緊張の中挨拶をしたことも今は楽しかった思い出です。

2年目は、総務部運営委員となり「入学式」「学位記授与

式」など学事にも多く関わらせていただき、退任するまで務めさせていただきました。

保護者会主催の、「自分のカラダを知ろう！！体組成、骨密度測定と食事」では、上西一弘教授（栄養生理学研究室）のセミナーを受けました。最先端の機械を用いて身体測定を行い、上西教授からは記録された数値をもとに講義を受けました。参加者仲間では「さあ、今日から、減量しよう！」などと笑いながら話が弾みました。

学科ごとの「保護者の集い」では、先生方のお話から娘たちの大学での様子を伺い知ることができ、同じ学科の保護者の方々にお会いすることもでき、とても有意義な時間を過ごしました。

娘は7年間の学生生活を終え、『この大学は私の誇り！』と言っています。

私自身も保護者会の一員として、数々の行事に参加させていただけたことで、素晴らしい出会いが沢山ありました。そして、ご指導いただいた諸先生方、職員の皆様、女子栄養大学に、心より感謝申し上げます。今では娘の卒業を機に役員を退任となるのが、とても淋しく感じています。保護者会での活動をしていたことで、娘と共に私も、“栄大”生活を楽しませていただき、“栄大”が大好きになりました。

保護者会主催の様々な催しは、とても楽しく、新たな素

敵な出会いをもたらしてくれます。ぜひ、多くの保護者の方々にご参加いただき、楽しんでもらえたらと思います。そして、その催し事の思い出話を、ぜひお嬢様としてください。お嬢様の通う大学を知り、保護者の方々にも、“栄大”を好きになっていただけたら、と願っています。

終わりに、今年度設立10周年を迎える保護者会の益々のご発展をご祈念いたします。

長い間、本当にありがとうございました。



1



2



3

1 左が中田さん染谷常務と
2 左から3番目が中田さん
3 オープンキャンパスにて



食文化栄養学科 保護者会運営委員(学園祭運営部)

山本 牧子

(4年生の保護者)

保護者会と私

私が保護者会の存在を知ったのは、娘の入学予定者オリエンテーションの時でした。常務理事の染谷先生と在学生の保護者の方のお話が楽しく、学校と保護者の距離の近さに驚きました。娘の中学・高校時代は行事を見に行くだけだった私も、「ぜひ、保護者会活動に参加したい!!」と思うようになりました。

4月、学年委員となり初めての保護者会総会に出席しました。総会後の立食パーティーは驚きの連続でした。松柏軒の豪華なお料理、役員の方の人数の多さと仲の良さ、そして出席された先生方の気さくさ等々。行きはひとりでしたが、帰りにはたくさんの知り合いができていました。

6月に開催された学科別の保護者の集いでは、先生方から子供たちの様子をうかがうことができました。衝撃だったのは「リンゴの皮むき」。個性的な写真に先生方のご苦労を感じ取ることができました。そしてまたまた立食パーティー。おいしいお料理はもちろん、さらに多くの保護者と知り合うことができました。「こんなにおいしい保護者会なら参加しないと損だよね～」と話しながら帰宅しました。

保護者会の活動はこれだけではありません。様々な講習会やバスでの研修旅行など、楽しい行事がたくさんあります。料理講習会は、ハンバーグやキャベツの千切りを2種類以上の方法で行い、どちらがおいしいかという基本的な調理実験から、本格的な松花堂弁当まで学生さんと同じように教えていただきました。高校の家庭科教員をしている私には、大変勉強になりました。研修旅行では、ビール工場やヤクルトの工場の見学に行きました。見学後は、楽

しいランチです。楽しい教育支援課の職員の方、学年や学科の違う保護者の方と親しくなり大満足の1日を過ごすことができました。

また私は、運営委員として学園祭の運営にも関わらせていただいています。若葉祭では外のテントで野菜や様々な食品の販売、校舎内で縁日を行いました。当日の運営だけでなく、縁日の景品の買い出し、前日の値付け、会場設営、学園祭翌日には片付けや仕入れ業者への支払いの振り込みも行います。大変なところは教育支援課の方がお手伝いしてくださるので、楽しく学生気分と達成感を味わうことができました。

まさか娘の大学で、人間関係の輪が広がり、大学の先生とお近づきになり、貴重な経験ができるとは思っていませんでした。上の学年の保護者の方からは、ゼミや就活など学生生活についても教えていただきました。娘以上に大学生活(?)を楽しんでいるような気がします。娘を女子栄養大に入れてよかったと実感しています。

最後の1年、恩返しも含めて保護者会の活動に力を入れようと思っていましたが、このような状況になってしまい非常に残念です。大学の授業、保護者会活動が少しでも早く再開できることをお祈りします。再開したらみんなで楽しみましょう!!



右から3番目が山本さん

学園祭(若葉祭)に参加して

縄田 和美
(4年生の保護者)

若葉の緑がまぶしい季節を迎えました。例年ならば、学生の賑やかな声がキャンパスに響き、学業にスポーツにそして遊びに汗を流す姿が見られた時期です。今年は世界的なコロナ禍で社会全般で影響がでており、残念ながら若葉祭も中止になりました。残念ながらというのも、私自身が保護者会の一員としてお手伝いすることをとても楽しみにしていたからです。

普通は学校の役員と言うと、面倒なイメージがあるかも知れませんが、栄大の保護者会はとにかく楽しいのです。年に2回の総会は保護者同士の情報交換はもちろん、先輩方や先生方からアドバイスをいただいたり、学校での娘の様子を伺えたりと貴重な時間。懇親会では美味しいお料理を頂きながらの懇談で、豪華な料理を目の前に盛上がらないわけがないでしょう！そこで仲良くなった方たちと、2年目からは運営委員として活動させていただいています。

運営委員には行事運営などを担当する総務委員と若葉祭の保護者会ブースを担当する若葉祭実行委員がいます。私は、若葉祭担当です。昨年も屋外での物販と屋内でのミニ縁日を行いました。前日は商品の値段付けや、縁日の飾り付け。皆でワイワイと作業しているとまるで自分も学生に戻ったような気分です。

当日は、私は主に物販を担当しました。皆で商品のお勧めポイントを確認したり、こうしたらもっと良さがわかってもらえそうとか、カレー粉とお米があるなら別々ではなく、セットにしようとかアイデアを出し合いながら接客しました。お客さまとの対話も楽しく、栄大受験を志望して

いる親娘さんに栄大をアピールできたり、地元の方から逆に商品のレシピを教えていただいたり、ついつい長話をしてしまう事も。そんなおしゃべりも温かく見守り、一押し商品が売れたら皆で喜びあうといったこの雰囲気！これぞ、栄大保護者会の楽しさ、明るさの象徴です。陰でご苦労下さったリーダーさん、副リーダーさんには大感謝です。

個人的に若葉祭の運営に携わって良かった事がもう一つ。娘が若葉祭の実行委員として活動をしていたので、共通の話題がふえました。それに、学校の近くで一人暮らしをしている娘の家に泊まり込み、一緒に食事をして、狭い部屋でひっついて寝るのもちょっとした楽しみでした。

こんなに楽しい保護者ライフが、娘が大学生になっても待ってるなんて。新しいママ友という関係は子供が、高校生くらいまでしか築けないと思っていましたが、大きな間違いでした。今、娘のママ友に恵まれて、再会を待ち望んでいる自分があります。今、学年委員をされてる方は、ぜひ運営委員としても楽しんでください。もし役員をやる機会を逃してしまった方は、各学科の保護者会や地方の集いに参加してみませんか。新しい素敵な出会いがありますよ！



中央が縄田さん



保護者会役員になって

三條 幸江
(4年生の保護者)

私が娘と共に初めて女子栄養大学のオープンキャンパスに参加した時のことです。

目的のイベントがどこの棟のどの教室で行われるのかわからなくなり、キョロキョロしていたところ、えんじ色のポロシャツを着た方が「保護者の方はこちらへどうぞ、学生さんはこちらへどうぞ」とテキパキとお声掛けされていました。その方の腕には保護者会の腕章がついており、大学にも保護者会があるのだなと思いました。いくつか他の大学を見学させていただいた中で初めての光景でしたので、とても新鮮さを抱いた事を今でも良く覚えております。

また、そこで新入生保護者に対しての「入学前からその後の生活について」学科ごとの役員の方からお話を伺えたのはとても安心できました。私はそこでお話しした希望の学科の役員さんに思わず話かけてしまったのですが、保護者会役員の方はとても快く対応して頂きました。

この日をきっかけとして、私も女子栄養大学の保護者会の役員になり、同じような保護者の方のお役に立ちたいと思うようになりました。

私は既に保護者会役員になり4年目となりました。保護者会のお仕事に参加させていただき、オープンキャンパ

ス、学科の集いのお手伝い、若葉祭のお手伝いなどとても楽しく行わせていただいております。

また、各学部学科の役員の方と学科を越えた情報交換もできますし、教育支援課の方とも和気あいあい、ざっくばらんにお話ができることも、保護者会の魅力ではないかと

思います。

残り1年間の保護者会役員ですが、オープンキャンパスに参加される高校生の皆さんやその保護者の方々へ少しでもこの大学の魅力をお伝えできるお手伝いできればと思っています。

◇事務局からのお知らせ◇

(1) 2020年度保護者会活動事業計画より (本日現在で中止または延期が決定した分です)

	内容	日程等	活動行事
1	中止	5月30日(土)、5月31日(日)	若葉祭
2	延期	6月6日(土) ⇒ 日程交渉中	保護者の集い(実践栄養学科)
3	中止	6月13日、6月27日、7月11日、7月25日	ゆかた着付け教室(1)～(4)
4	延期	6月14日(日) ⇒ 日程交渉中	保護者の集い(長野) 於:JA長野
5	中止	6月22日(月)～26日(金)	保護者会前期授業公開
6	延期	6月27日(土) ⇒ 9月13日(日)へ延期	保護者の集い(科学専攻/食文化栄養学科)
7	中止	10月31日(土)、11月1日(日)	駒込祭

(2) 教養文化セミナー「きもの着付け教室 全5回」のご案内

講師：新田和枝先生(日本きもの振興研究所網野式きもの着付一級師範)

	日程	内容等	
第1回教室	10月3日(土)	初級クラス(10:00～12:00)	補正について、長襦袢の着装、普段着の着装
		中級クラス(13:00～15:00)	着装個人練習、名古屋帯(一重太鼓)について
第2回教室	10月17日(土)	初級クラス(10:00～12:00)	補正、長襦袢・普段着の着装、名古屋帯について
		中級クラス(13:00～15:00)	着装個人練習
第3回教室	11月14日(土)	初級クラス(10:00～12:00)	名古屋帯(一重太鼓)の練習
		中級クラス(13:00～15:00)	名古屋帯の研究(かわり結び)
第4回教室	11月28日(土)	初級クラス(10:00～12:00)	袋帯(二重太鼓)について
		中級クラス(13:00～15:00)	袋帯の研究
第5回教室	12月5日(土)	初級クラス(10:00～12:00)	総復習とまとめ
		中級クラス(13:00～15:00)	総復習とまとめ

開催場所 香友会館3階和室(坂戸キャンパス若葉寮敷地内) **受講料** 1回につき500円(在学生無料)

お申込み 以下を記載の上、保護者会事務局メール(hogosya@eiyo.ac.jp)に送信してください。返答はお送りしません。

- 1) 件名「きもの着付け教室申込」
- 2) 受講希望日(補正等の説明があるので初級クラス受講者はなるべく第1回目の受講をお願いいたします)
- 3) 受講希望者氏名
- 4) 学生氏名と学年学科
- 5) 連絡先(携帯電話)

ご注意 開催中止など連絡が必要な際にはメールを入れます。(@eiyo.ac.jp)が受信できるようにドメイン設定を行っていただき、保護者会事務局からのメールが着信できるように各自メールの設定をお願いいたします。

※今後の社会状況により保護者会の行事イベント類を中止/延期する場合は学園ホームページにてご案内いたしますので、お手数ですがホームページにてご確認くださいませようお願い申し上げます。

編集後記

今般の世界規模での厳しい状況の下、世界中で未知の新型ウイルスと闘っておられる方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、その命を救おうと格闘しておられる医療関係者の皆さまの日々の努力に敬意を表します。本年度は、学生さんの授業やキャンパスライフに加え、多くの保護者会活動も中止や延期せざるを得ない厳しい状況下ではございますが、一日も早い平穏の訪れと、皆様のご健康をさらに願い、再会できますことを心より楽しみにいたしております。

保護者会事務局(教育支援課)

各コーナーへの
投稿ご送付先

郵送：〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21 FAX：049-282-3720
E-mail：hogosya@eiyo.ac.jp いずれも、教育支援課 保護者会運営事務担当 宛